

松平春嶽と山内容堂

●会場 1階松平家史料展示室
●会期 平成16年3月21日(日)～5月23日(日)

幕末の福井藩主松平春嶽^{しゅんがく}（慶永）と土佐藩主山内容堂^{やまうち ようどう とよしげ}（豊信）は、共に公武合体を進めるなど親密な関係にありました。今回の展示では、開館記念特別展「天下の事成就せり—福井藩と坂本龍馬—」に併せて、龍馬の出身藩である土佐藩の藩主山内容堂について、春嶽との関係やその魅力ある人物像を、越前松平家の伝来品から紹介していきます。

1 春嶽と容堂

春嶽と容堂が知り合うようになったのは、安政4年（1857）とされており、以降容堂が亡くなるまで二人の親交が続きました。ここでは、容堂が揮毫^{きごう}して春嶽へ贈った「養賢堂」の額や、容堂の死後、山内家から贈られた遺愛品を展示しています。

2 春嶽・容堂の肖像写真

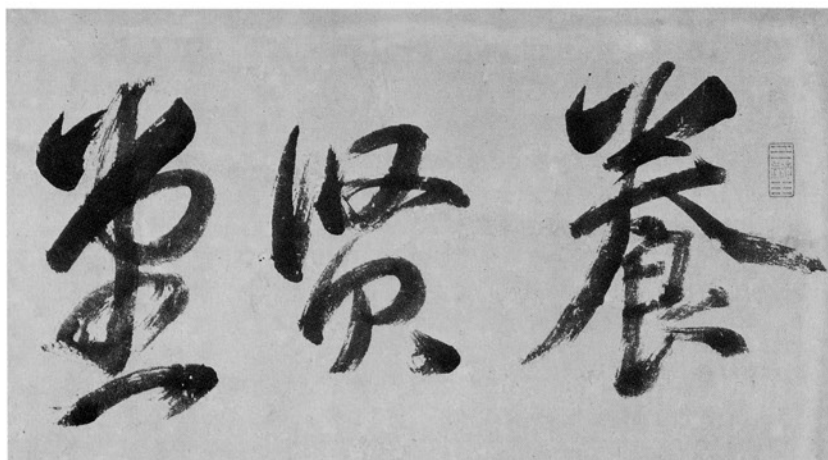
幕末に伝来した写真術は、当時の人々の貴重なすがたを今に伝えることになりました。ここでは、春嶽の手元に残された写真の中から、春嶽と容堂の肖像写真を展示しています。



松平春嶽 (1828～1890)



山内容堂 (1827～1872)



山内容堂筆「養賢堂」の扁額

3 容堂から春嶽への手紙

春嶽と容堂の親密な関係を示すものに手紙があります。二人の間では数多くの手紙がやり取りされましたが、そこには政治向きのことから個人的なことまで、さまざまな内容が書かれています。ここでは春嶽へ送った容堂の手紙を展示しています。



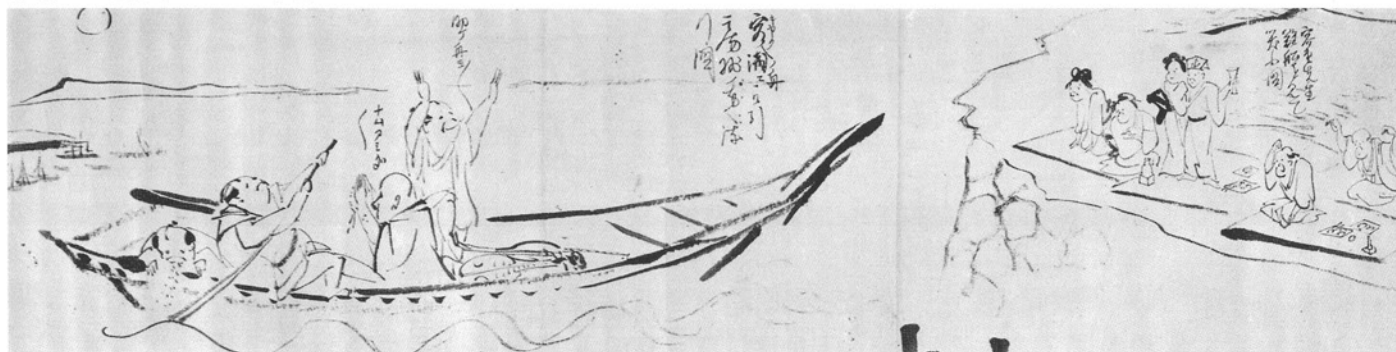
山内容堂書状 (安政5年)

4 春嶽の日記に見る容堂

春嶽は幕末から明治期にかけて数多くの日記を残しています。ここでは慶応3年（1867）に朝廷の命令で京都へ上京した際の日記から、容堂関係の記事を選んで展示しています。

5 容堂の多彩な才学

容堂の豊かな人間性は学問や芸術に対する教養の深さと情熱にありました。ここでは容堂が春嶽へ贈った画賛や詩作、戯画、印章などを展示しています。



山内容堂筆「容堂先生難船を見て笑ふ図」

「松平春嶽と山内容堂」展示品目録

名 称	員 数	備 考
春嶽と容堂		
1 山内容堂筆「養賢堂」の扁額	紙本墨書 1額	福井市春嶽公記念文庫
2 朱昂之筆「松壑雲泉」の図	絹本著色 1幅	福井市春嶽公記念文庫
春嶽・容堂の肖像写真		
3 四老公肖像写真衝立	1点	福井市春嶽公記念文庫
4 松平春嶽肖像写真	2点	福井市春嶽公記念文庫
5 山内容堂肖像写真	2点	福井市春嶽公記念文庫
容堂から春嶽への手紙		
6 山内容堂書状(安政5年)	1幅	福井市春嶽公記念文庫
7 朶雲群集(山内容堂書状)	1帖	福井市春嶽公記念文庫
8 山内容堂公御手書	1巻	越葵文庫 松平宗紀氏蔵 当館保管
春嶽の日記に見る容堂		
9 登京日記一	1冊	福井市春嶽公記念文庫
10 滞京日記二	1冊	福井市春嶽公記念文庫
容堂の多彩な才学		
11 春木南溟筆「多武峰春景・高雄秋景」の図(山内容堂賛)	絹本著色 2幅	福井市春嶽公記念文庫
12 文珪筆「郭汾陽」の図(山内容堂・伊達宗紀賛)	紙本著色 1幅	福井市春嶽公記念文庫
13 「春岳真逸」の印章(山内容堂刻)	1顆	福井市春嶽公記念文庫
14 脇差(山内容堂鍛造)	1口	福井市春嶽公記念文庫
15 山内容堂筆「品川竹枝并引」の詩幅	絹本墨書 1幅	福井市春嶽公記念文庫
16 山内容堂筆「下江舟中懐」の詩幅	絹本墨書 1幅	福井市春嶽公記念文庫
17 山内容堂筆「誰道世界曠地球一彈丸」の詩幅	絹本墨書 1幅	福井市春嶽公記念文庫
18 山内容堂筆「容堂先生難船を見て笑ふ図」	紙本墨画 1巻	福井市春嶽公記念文庫
19 海南石硯(附山内容堂添書)	1点・1幅	福井市春嶽公記念文庫

次回の展示

鞍橋にほどこされた時絵

5/26(水)～7/20(火)

○見どころ講座 6/12(土)午後2時～

○講演会 6/19(土)午後2時～

※詳しくはお問い合わせください。

■臨時休館日 5/24(月)・25(火)

◎見どころ講座 松平春嶽と山内容堂

容堂の手紙を参加者の方と読んでみます。

日時 4/24(土)午後2時～

場所 講堂(2階)

担当 印牧信明(当館学芸員)

定員 30人

※電話または館内で申し込みを受け付けます。

松平家史料展示室 展示解説シート No.4

平成16年3月21日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1

電話(0776)21-0489

担当 印牧信明・西村英之